

足立区議会議長 た だ 太 郎 様

足立区議会議員 12番 しぶや 竜 一 印

一 般 質 問 通 告 書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいのので、会議規則第59条第2項の規定により質問通告書を提出します。

記

行 政 区 分	質 問 の 要 旨
1 地域のちから 推進行政	<p>1 足立区民の体力向上とスポーツ振興について</p> <p>(1) アーバンスポーツ施設について スケートボードパーク、BMX等のアーバンスポーツ施設の新設は若い世代から子どもたちからも今はオリンピック選手での活躍もあり、日本では、Xゲームズといった大きな大会の開催、テレビ放映含め年々盛り上がっている。アーバンスポーツを誰もが体験できる場として2024年に開業した有明のアーバンスケートパークを視察してきた。「ウエルネス」と「コミュニティ」の拠点としても注目度は高い施設であり、非常に人気である。足立区内でそういった施設が無いから埼玉県や他区で楽しむしかないという声が増えているからこそ、いよいよ本格的に始動する時期ではないかと感じる。</p> <p>①舎人公園の活用や高架下の利活用についての質問をしてから3年以上経過しているが、どのように東京都と協議しているのか。他の区の状況などの調査、研究等はしているのか。高架下の活用、区内の公園での整備は可能性があるならばどこなら可能なのか。あらためて区の見解を伺う。</p> <p>②有明アーバンスポーツパークが民間活用の最新モデルとして誕生したことを踏まえ、都立公園での可能性を視野にすると、民間事業者の参入は方法の一つである。民間連携を加速させるために、区としてもサウンディング型調査も検討するよう東京都と協議してもらいたい。区の見解を伺う。</p> <p>(2) 舎人公園の利用について ①区民の料金半額などの東京都との協議はどのようなになっているのか。進捗状況踏まえ、見解を伺う。 ②舎人公園には現在バスケットコートが設置され、一つのバスケット</p>
	2月13日 午前・午後 8時30分受付 質問時間 20分

	1 2 番 し ぶ や 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	<p>ゴールがある状況であり、2月下旬に移設される。利用状況、スペースを考えると、この移設のタイミングで、もう1つバスケットゴールの設置を検討していただくよう、東京都に投げかけてもらいたいと思うが、区の見解を伺う。</p> <p>③陸上競技場は利用率が低く、特にナイターではほとんど利用されていないように感じる。陸上競技場の活用は日暮里・舎人ライナーの日中の利用者の増加に繋がることを鑑みると、様々なイベント等を検討すべきである。昨年の東京世界陸上のレガシー事業などを検討すべきではないかと考えるがどうか。見解を伺う。</p> <p>④硬式野球場について、東京都の今後の計画性には無く、軟式野球を中心という見解であるが、硬式野球場では軟式野球の利用も可能である。区の状況を説明したうえで、やる気を出して協議をしていく姿勢を持っていただきたい。硬式野球場に必要な広さのことも踏まえて、あらためて東京都と協議していただきたいと同時に、区としても再検討していただきたいがどうか。見解を伺う。</p> <p>⑤上沼田東公園では、硬式ボールでのキャッチボールのみ利用可能となり、区内の硬式野球チームに伝えたところ大変喜んでいた。整備されている平野運動場や舎人公園の野球場でも、キャッチボールや内野ノックといった最低限の硬式野球のボール、バット利用も可能にするよう検討していただきたいがどうか。見解を伺う。</p> <p>(3) スイムスポーツセンターの現状把握について</p> <p>①工事に不備が発生した西保木間のスイムスポーツセンターについて、プールの深さが飛び込みに必要な最低限の深さの1.35mに満たないことについて過去に議論があった。スイムスポーツセンターはけがをした方々のリハビリや運動、体力づくりといった地域の方々に寄り添った施設として利用されている一方、これまで競泳競技大会等でも利用されていた施設でもある。飛び込みができる施設は総合スポーツセンターしかない状況であり、夏の猛暑も心配な中、今後、競泳競技、大会等をどのように考えているのか。</p> <p>②約1年半以上が経過しているが、特にその後の利用状況、どのような変化があったのか議会に報告はない。水泳連盟や地域の方々には説明等は既に行っているのか。競技・大会等が出来ないのであれば、改修工事等は検討しているのか。見解を伺う。</p> <p>③改修費用は約36億8,700万円余、工事を進めていくうえで10cm浅くしないと工事の施工、継続は難しいとのことであるが、各所管との協議、水泳連盟、地域の方々の意見聴取、議会への報告等が</p>

	1 2 番 し ぶ や 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	<p>なかったことは問題なのではないかと感じる。今後は、そういったことのないよう、施設工事を継続する段階か否かの判断の際には、関係機関との連携強化・情報共有をできる限りしていただきたいと考えるがどうか。見解を伺う。</p> <p>(4) 千住スポーツ公園について 千住スポーツ公園には床下収納式の土俵がある。足立区には3つの相撲部屋があるが、「数字を見る足立」の利用実績を見ても一切利用されていない。本年4月に東京武道館で相撲巡業の足立場所が実施されることから、相撲が身近に感じられるようなイベントの開催や相撲教室の開催などを視野に、区として床下収納式の土俵の活用方法を検討すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(5) 学校開放事業の見直しについて ①足立区学校開放事業審議会の委員構成の基準等はどうなっているのか。どのような委員構成となっているのか伺う。 ②利用ルールに基づく順守徹底として、グラウンド整備、喫煙問題等を含めたペナルティ制度を早期に導入すべきと考えるが、区の見解を伺う。 ③総合型地域クラブに専門的指導員の確保や財源などの課題がある中で、生涯スポーツの基盤づくりや中高生の居場所づくりという視点が重要であるとの考えから、保険加入等についての見直しも必要であると感じる。壊してしまった団体にも責任があると思うが、在校生がバスケットゴールを授業等でも使用出来ない期間が続くのはあまりにも気の毒である。学校開放事業でバスケットゴール1つの修理にかなりの時間を要するのは、区の制度の問題であり、区としての責任もあると感じる。今後は補填等も取り入れた制度の見直しも検討すべきであると思うが、見解を伺う。</p> <p>(6) 高齢者の体力向上施策について ①フレイル予防が何より重要となる中で、パークで筋トレ、体力測定会等の参加人数は増加傾向にあるのか伺う。また、選択肢を増やすため、幅広く実施する観点からも、柔道整復師、理学療法士による訪問型機能訓練も実施するべきと考えるがどうか。区の見解を伺う。 ②令和5年度にスタートしたばく増しは、なかなか見える結果というのが難しいと思うが、実際に成果はどうであったか、どう変化したのか伺う。</p>
2 衛生行政	

行政区分	質問の要旨
3 学校運営行政	<p>③ぱく増しを知るきっかけとなるアンケート調査が重要であると感じるが、そのようなアンケート調査は実施しているのか伺う。</p> <p>(7) 糖尿病対策について</p> <p>①すこやかプラザ あだちと江北エリアのスポーツ施設が連携したモデル事業の計画は進んでいるのか。区として実施していることはあるのか。進捗状況を伺う。</p> <p>②糖尿病腎症から人工透析へ移行する患者は、全国平均で約4割と多い傾向である。足立区でも同様であり、区民に糖尿病のリスク、食事療法の改善や、何より運動に関わるきっかけづくりを促していくことが重要である。糖尿病月間において人工透析患者の割合なども含めた現状を区民に把握してもらい、自分の身体を見つめ直してもらえよう分かりやすい周知に努めてほしいが、区の見解を伺う。</p> <p>③足立区では小児からの糖尿病対策に早期から取り組み、学校保健統計をわかりやすくまとめていることを高く評価をしている。現在、小児の糖尿病対策においてはどのような対策をしているのか。また、教育委員会だけでなく、衛生部や地域のちから推進部などと連携した施策展開、アプローチもしていくべきだと感じるが、見解を伺う。</p> <p>(8) 校庭の人工芝化に向けて</p> <p>①小学校の校庭は人工芝化の計画であるが、あらためてどのように進めていくのか、現段階での計画を伺う。</p> <p>②部活動の地域展開が進んでいく中、中学校の校庭の人工芝化はどのように考えているのか伺う。</p> <p>③学校開放事業では、スパイクの利用が学校によって異なっているが、怪我のリスクも踏まえ、様々な問題が発生するのではないかと感じる。学校開放制度の見直しを進めていく中で、校庭の人工芝化でのスパイク可否等の統一化を図るべきではないかと考えるが、見解を伺う。</p>
4 都市建設行政	<p>2 足立区の総合交通対策について</p> <p>(1) 足タクについて</p> <p>①乗降スポットが増加し、利用者の行き先が偏ってはきているが、昨年4月から本格運行となって、現状の利用率はどのようになっているのか伺う。</p> <p>②実証実験時に協力していただいた4社が継続して運行している状況であるが、協力状況は順調か伺う。</p>

	1 2 番 し ぶ や 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	<p>③スーパー等の商業施設や区民向けの施設など、随時、乗降スポットを増加していくべきだと思うがどうか。</p> <p>④葛飾区は、デマンドタクシー「かつライド」の対象施設マップや利用方法に関するホームページがあり、分かりやすく周知をしている。足立区はホームページに利用ガイドを掲載しているが、Instagram といった SNS を活用した周知、広報もすべきであり、今後、新たな交通手段を導入する際は、若い世代、子育て世代に浸透するように周知徹底に努めていくべきだと思うが、見解を伺う。また、若い世代、子育て世代という点では、オンラインでの予約システムを検討すべきと思うが、併せて伺う。</p> <p>(2) 自転車青切符について</p> <p>①本年4月1日より、自転車の交通反則通告制度が開始する。マナー違反が多く危険な状況を打破するために、警察との連携強化、青パトでの注意喚起といった周知等をするべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>②子どもたちへの自転車教育、若い世代に向けた青切符に伴った交通教育も実施すべきである。自転車ルール啓発を目的としたコミュニティバスはるかぜのラッピングバスの運行を開始しているが、若い世代に向け、YouTube での動画配信や Instagram といった SNS を活用した注意喚起や、区内の自転車交通事故の発生状況などの現状を知ってもらう取り組みも同時に実施していくべきであると考え、見解を伺う。</p> <p>(3) 日暮里・舎人ライナー混雑緩和対策について</p> <p>①混雑緩和に向けたバス実証実験が開始され、朝の通勤・通学のラッシュ時間帯に直行バスを3台運行している。あくまで緊急な対応、臨時的な手段とのことであるが、現在の利用状況を伺う。</p> <p>②実験終了後には東京都と区による検証が行われると聞く。来年度以降に同様の実験をする場合、どのように実験内容を設定していくことになるのか。見解を伺う。</p> <p>③時間はかかるが、ゆったりと乗車できていると聞いているものの、現在は30～35分程の時間がかかっているとのことである。実験内容の検証をする場合には、乗車時間の短縮についても東京都と協議していただきたいと思うが、併せて伺う。</p> <p>(4) 自動運転、グリーンスローモビリティの活用について</p> <p>①自動運転の運行ルート候補地は、減便、廃止となったはるかぜの運行ルートを基に検証している。第一候補は、小型バスを活用した西新</p>

	1 2 番 しぶや 竜 一
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	<p>井駅・六町駅区間とのことだが、試験走行の段階でルート変更等を含めた協議をする計画なのか伺う。また、地域の方々の声も十分に伺いながら試験走行を進めるべきと考えるが、どのように検討しているのか、併せて見解を伺う。</p> <p>②はるかぜ3号（西新井・舎人線）が廃止となって2年が経過した。地域からは、代替えとなる路線、新たな交通手段の可能性はどうかとの声がある中、はるかぜ3号（西新井・舎人線）は自動運転の候補地になってはいない。今後の検証次第では盛り込んでいただきたいと感じるが、見解を伺う。</p> <p>③昨年10月からグリーンスローモビリティの実証実験を開始している墨田区では、若い世代にも興味関心を抱いてもらうために、大学連携事業を2月後半からの2回目の実証運行で予定している。運行補助、乗車後のアンケートの作成や、車体デザインを千葉大学の学生に任せているとのことである。区としても総合交通を通して若い世代との協力体制を築き、例えば文教大学と連携し、大学生に花畑地区でグリーンスローモビリティを運行してもらうなどの連携を図るなど、区内大学との連携事業も検討してはどうかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>（５）花畑ぐるりんについて</p> <p>地域内交通サポート制度のあり方について、ありとあらゆる手段を模索しながら協議会の方々に取り組んでいただいているが、区のサポートは必須である。協賛金を募る実施方法も視野に進めていくべきではないかと思うが、見解を伺う。</p> <p>（６）チョイそこ×せんじゅについて</p> <p>若者や子育て世帯の方々に利用してもらうことも交通システムの拡充に繋がることから、キャッシュレス化も検討すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>（７）子ども乗せ電動自転車の駐輪場整備について</p> <p>①区営自転車駐車場全箇所で、子ども乗せ電動自転車の駐輪は可能とのことであるが、一箇所において平均どのくらいあるのか伺う。</p> <p>②場所によって差があるのは当然であるが、狭く停めづらい駐輪場は改修も視野に進めていくべきであると考えているが、見解を伺う。また、区内の商業施設等にも拡充していくよう努めていただきたいが、併せて伺う。</p>